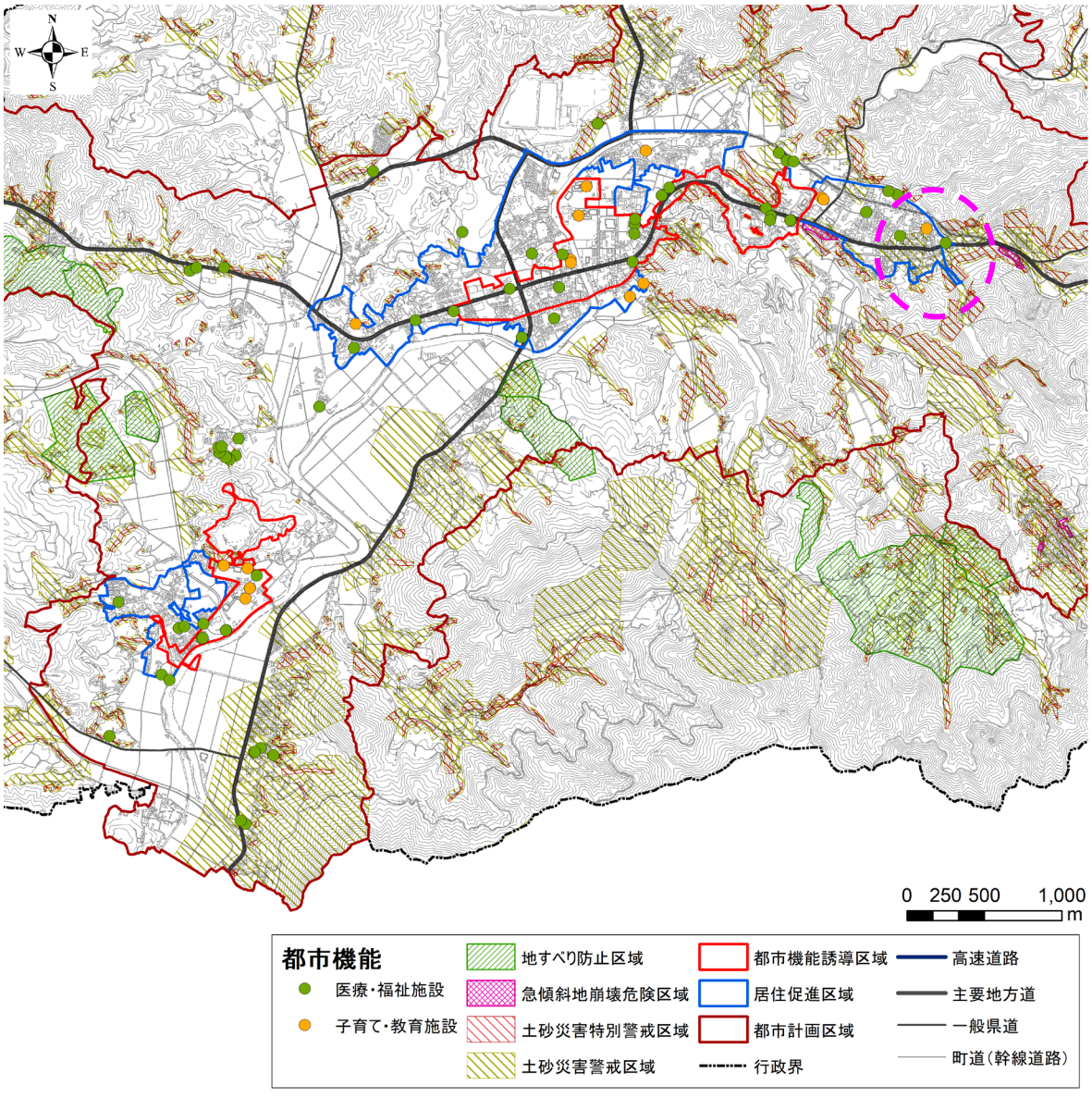
### ⑤ 土砂災害

医療・福祉施設、子育て・教育施設と土砂災害特別警戒区域・地すべり防止区域・急傾斜地崩壊危険区域・土砂災害警戒区域の分布状況は以下の通りです。

- 居住促進区域内において、特に中心地区の東側にある土砂災害警戒区域内に一部施設が立地しています。（◌ の箇所）
- 居住促進区域内において、特に中心地区の東側に、土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域が隣接しています。



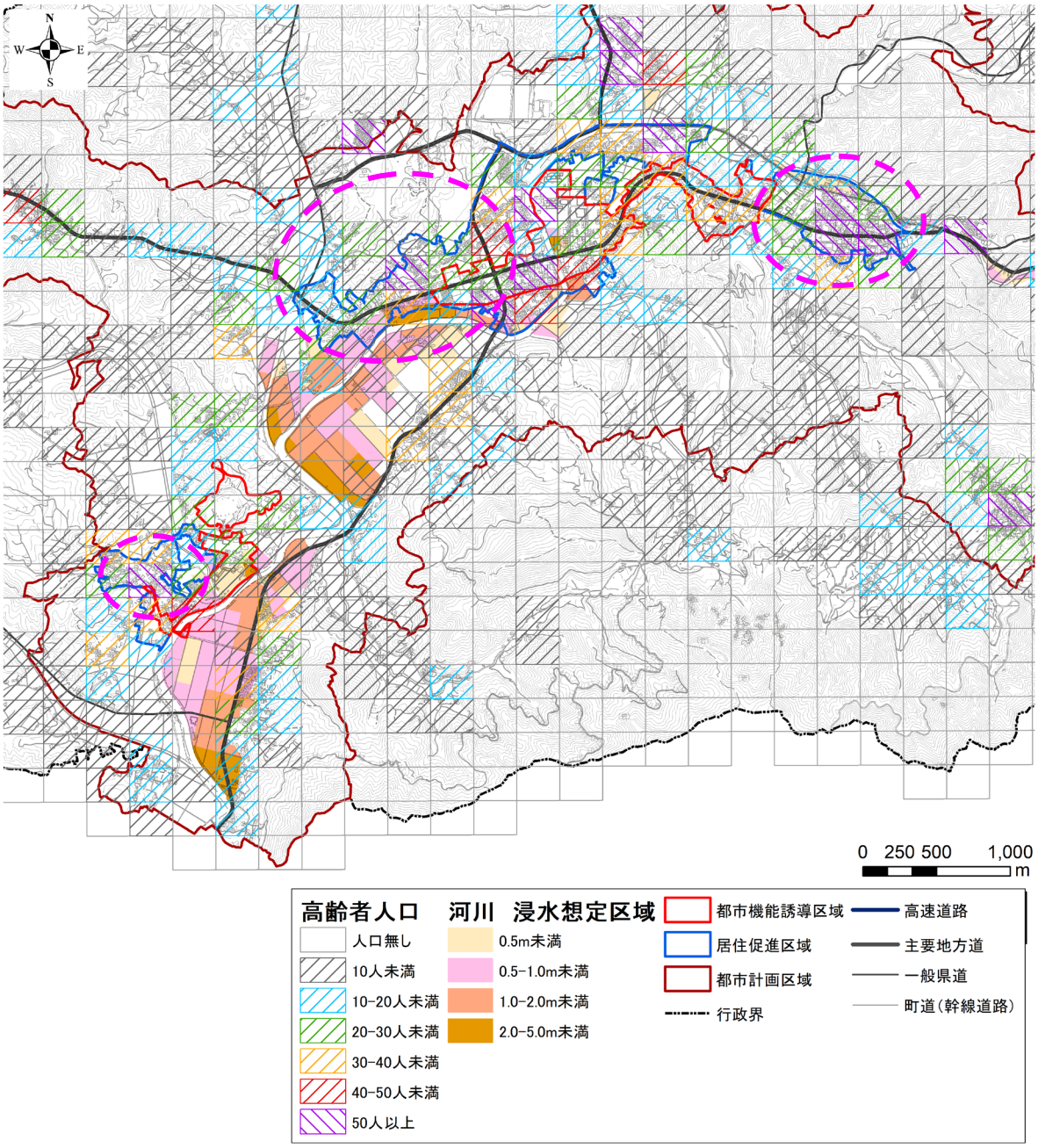

■土砂災害リスクと都市機能の分布

## （４）高齢者分布

### ①洪水（計画規模）

65 歳以上高齢者の分布状況と浸水想定区域（計画規模）は以下の通りです。

- 居住促進区域内の中心地区、南地区において、高齢者人口が 50 人以上となっているところが見られます。（◌ の箇所）
- 浸水想定区域（計画規模）内には、高齢者の分布との重なりはさほど多くありません。

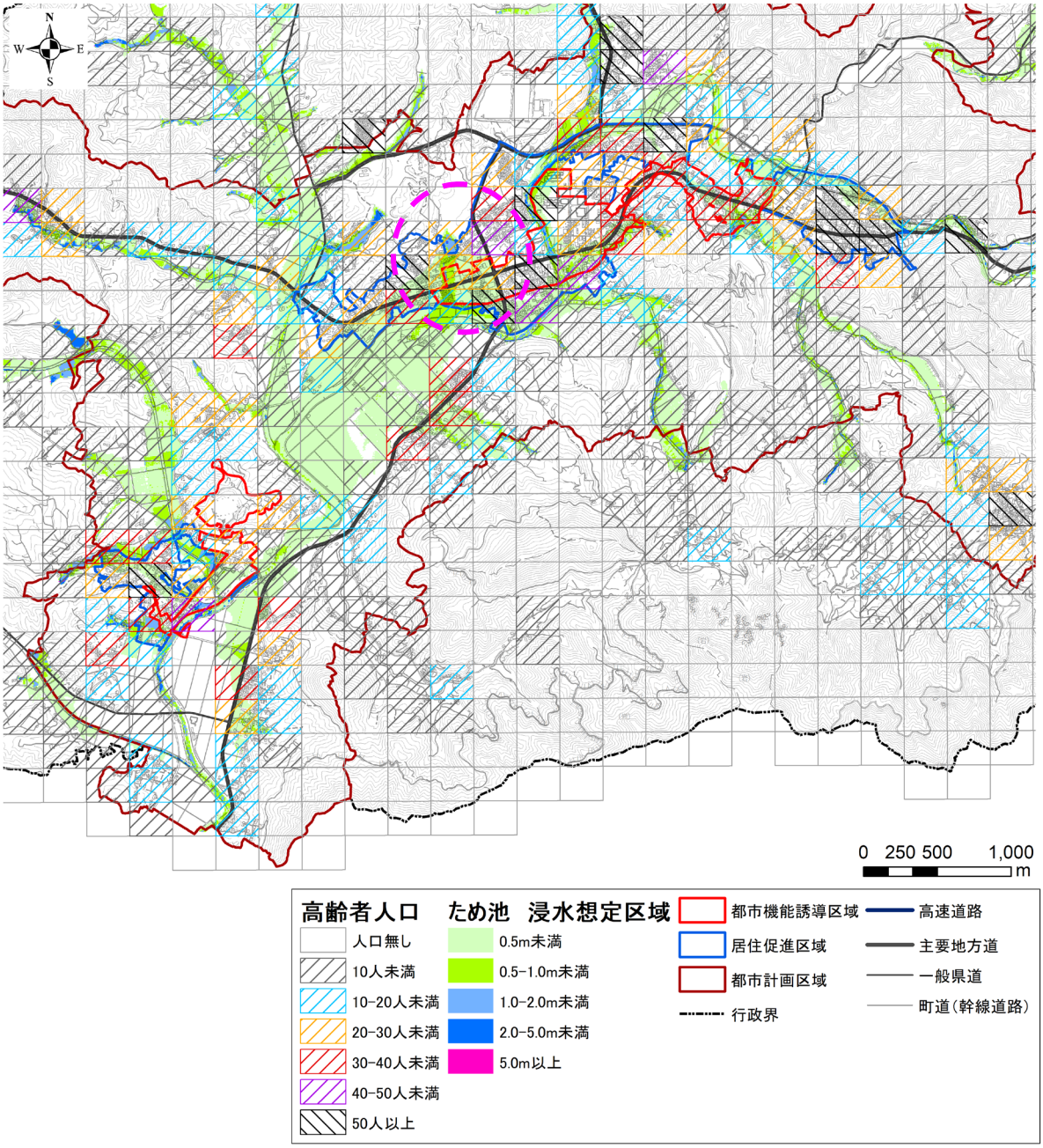



■浸水想定区域（計画規模）と高齢者分布

### ② ため池(浸水想定)

65 歳以上高齢者の分布状況とため池の浸水想定区域は以下の通りです。

- 居住促進区域内の中心地区には、ため池の浸水想定区域と高齢者人口が 20～30 人未満が重なっているところが見られます。(◌ の箇所)
- それ以外の箇所については、高齢者の分布との重なりはさほど多くありません。

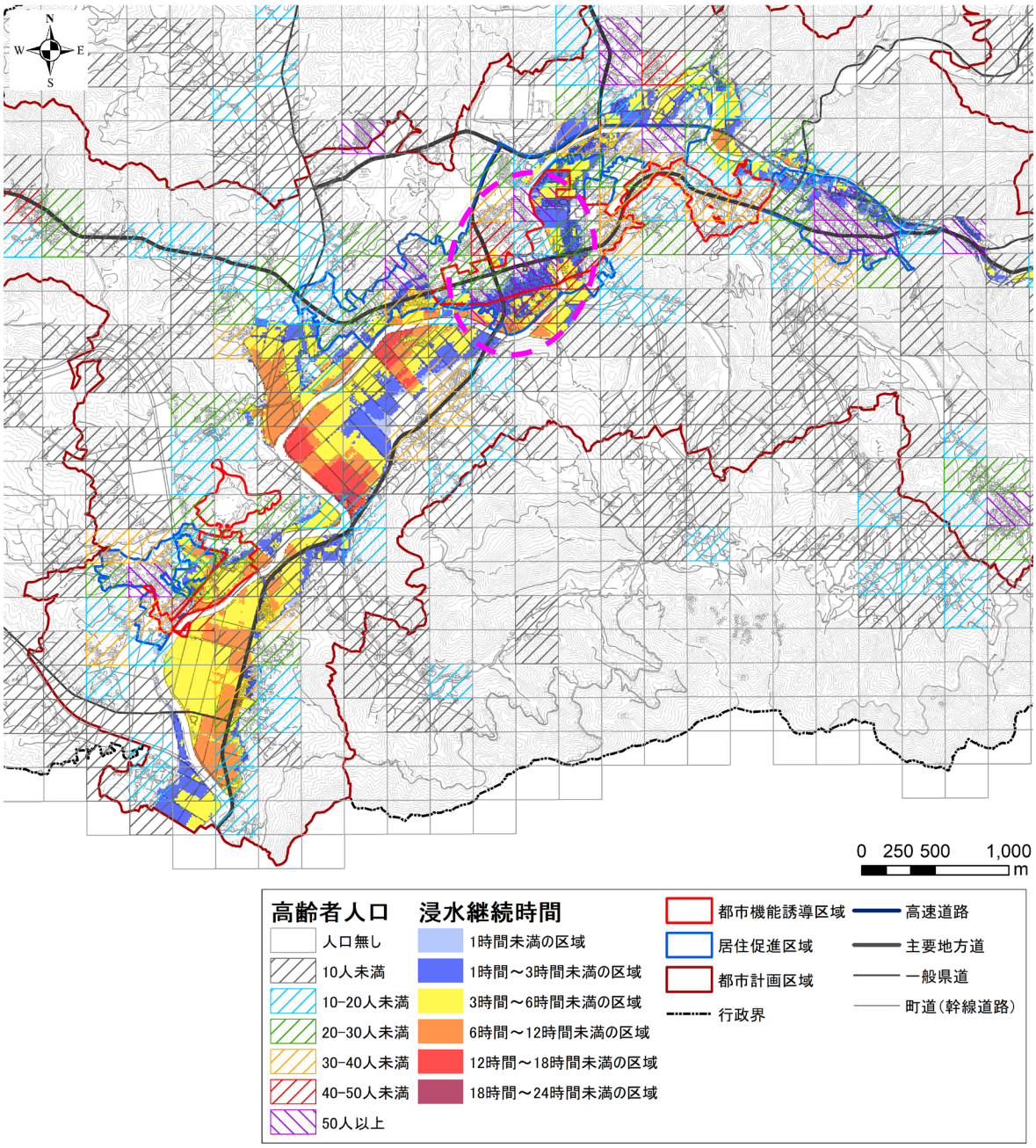



■浸水想定区域(ため池)と高齢者分布

### ③ 洪水（想定最大規模：浸水継続時間）

65 歳以上高齢者の分布状況と洪水時の浸水継続時間の状況は以下の通りです。

- 居住促進区域内の中心地区に、浸水継続時間 6 時間未満のエリアと高齢者人口 50 人以上が重なっているところが一部見られます。（◌ の箇所）
- それ以外の箇所については、高齢者の分布との重なりはさほど多くありません。

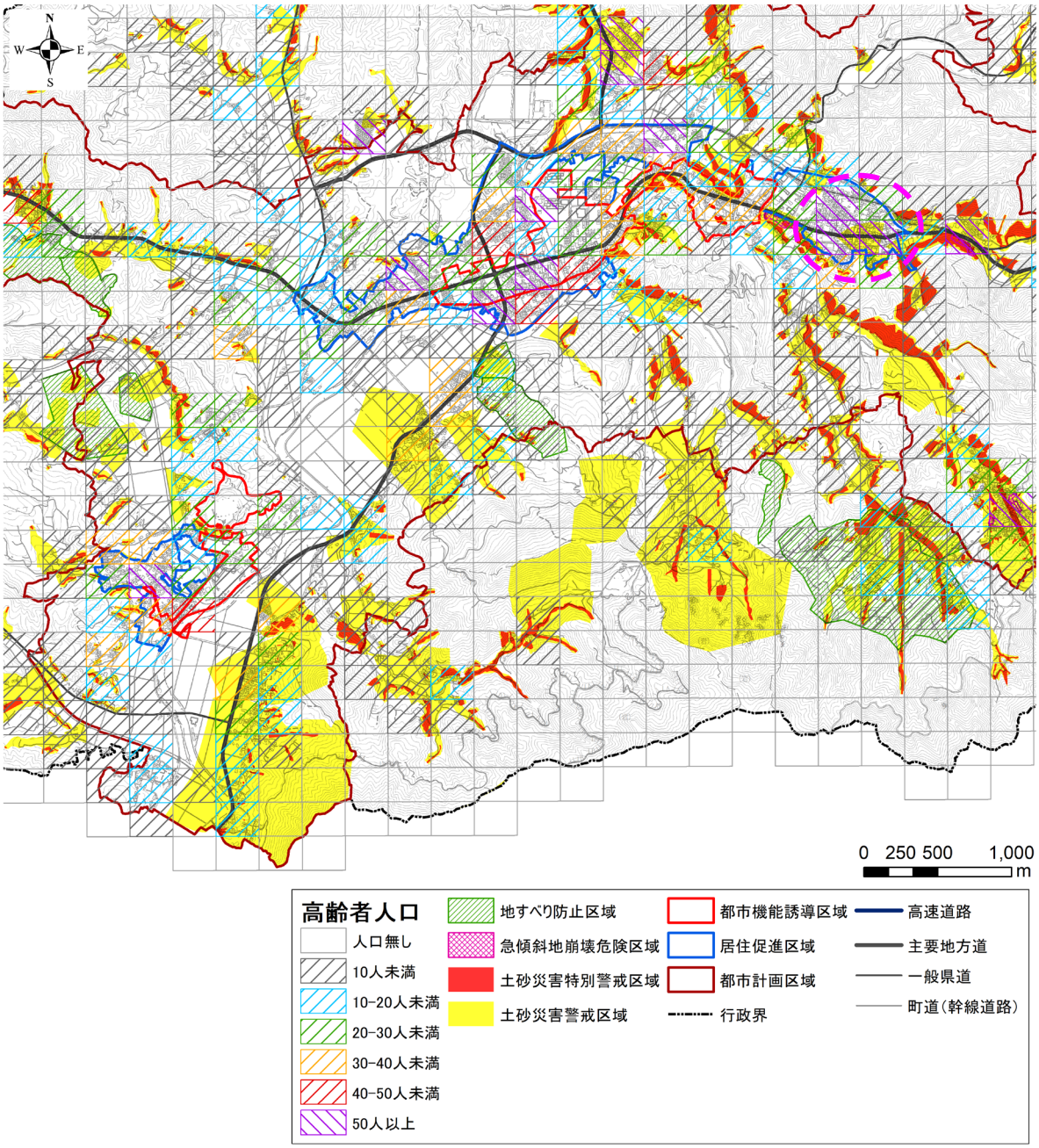



■浸水継続時間と高齢者分布

### ④ 土砂災害

65 歳以上高齢者の分布状況と地すべり防止区域・急傾斜地崩壊危険区域・土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域の状況は以下の通りです。

- 居住促進区域内の中心地区の東側に、土砂災害警戒区域と高齢者人口 50 人以上が重なっているところが一部見られます。（◌ の箇所）
- それ以外の箇所については、さほど高齢者の分布との重なりは多くありません。

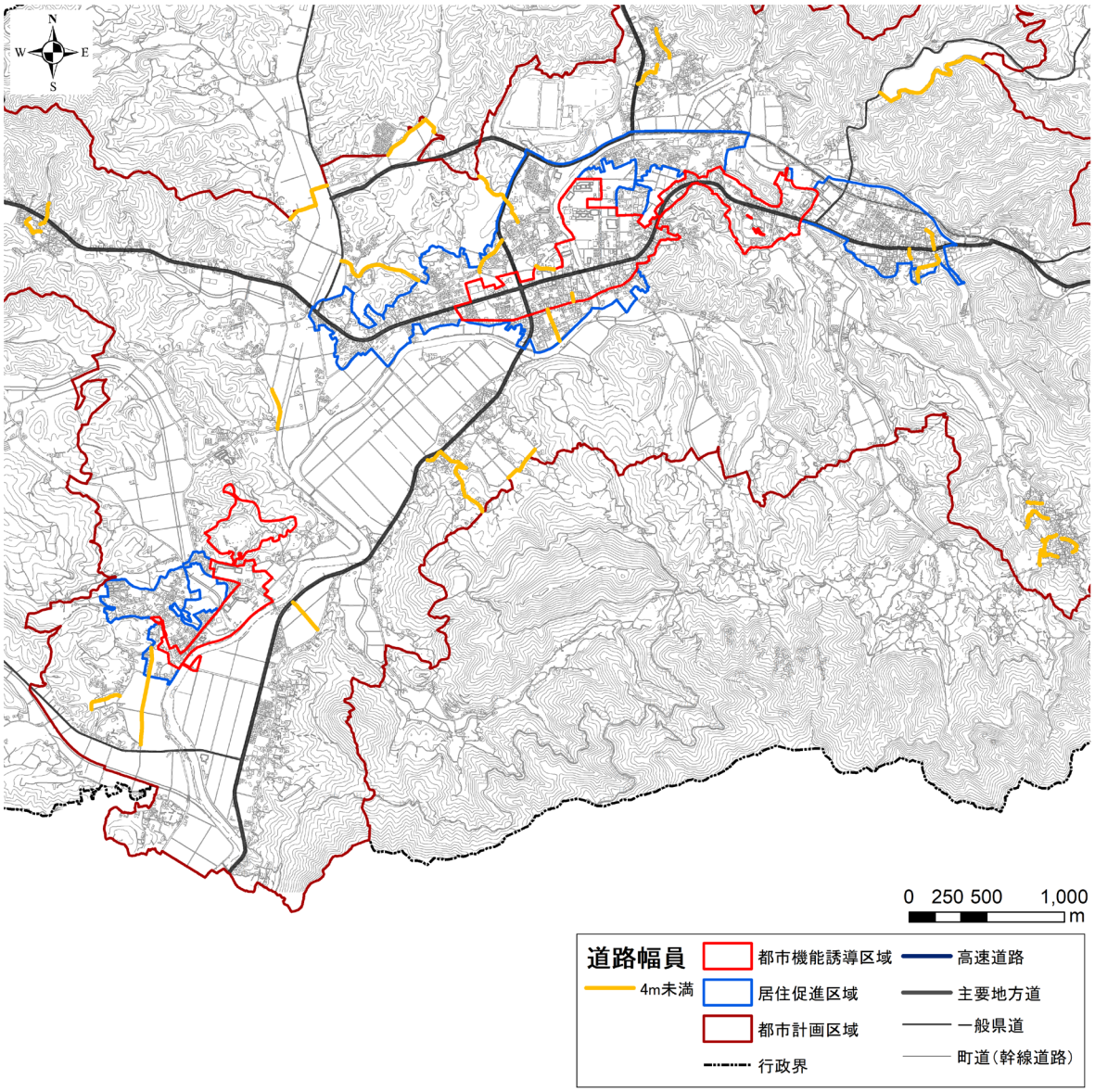



■土砂災害リスクと高齢者分布

## （５）道路網

### ① 幅員 4m未満の道路

- 居住促進区域内において、中心地区の東側・中央部、南地区の南側において、4m未満道路が見られ、災害時に緊急車両の通行に支障が出る可能性があります。
- それ以外の箇所については、4m未満道路は見られません。




※都市計画区域内のみ調査

■4m未満道路の分布

# 4. 居住促進区域地区別の防災上の課題の整理

中心地区、南地区の 2 地区を対象に防災上の課題について、抽出・整理を行いました。

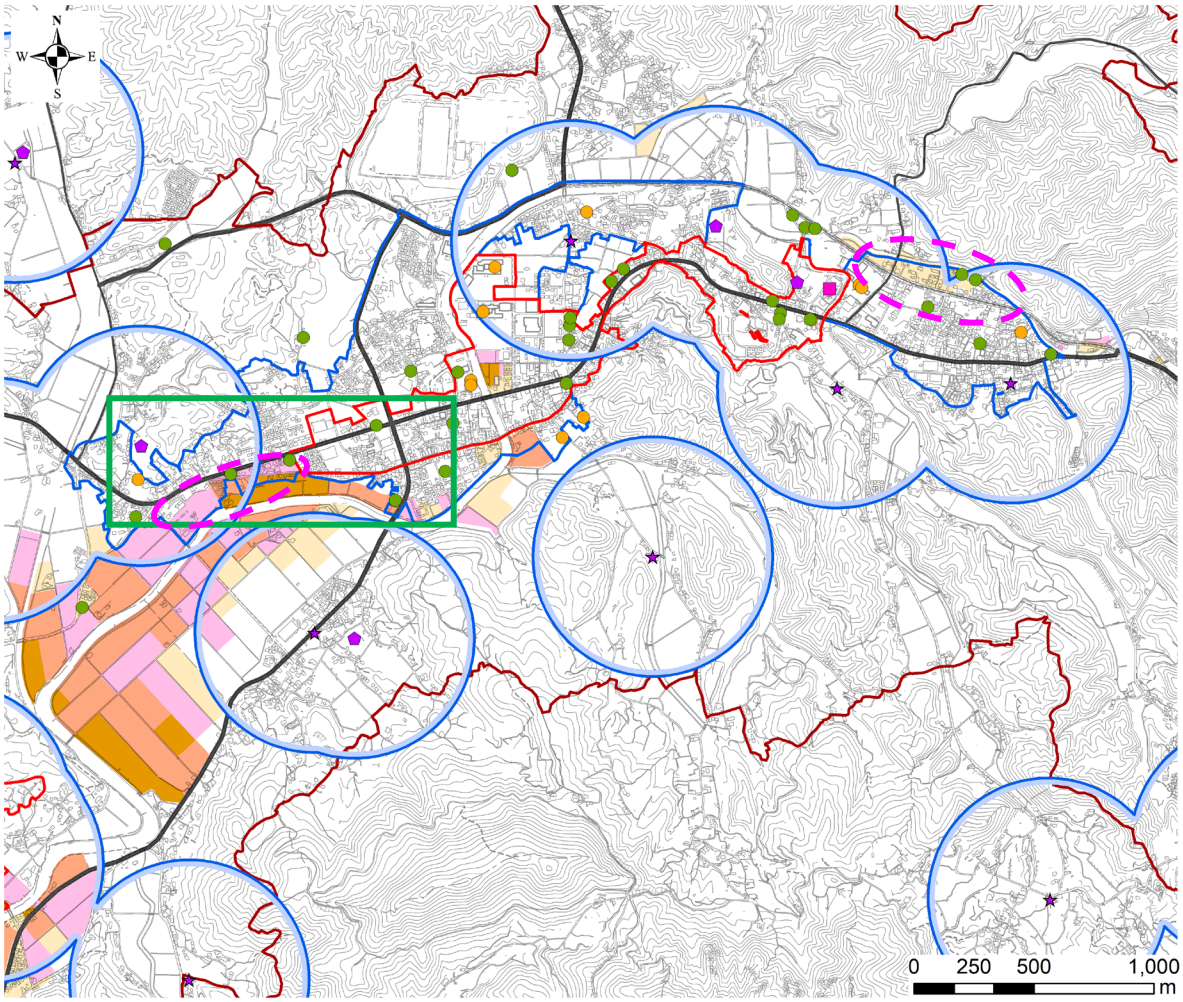
## (1)中心地区

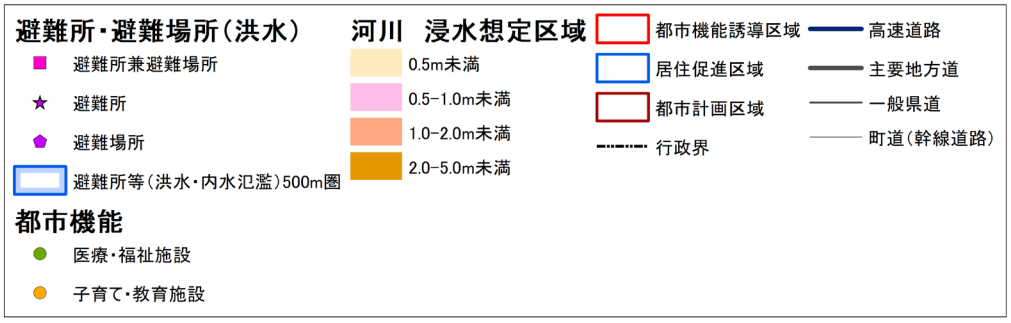
### ① 浸水想定区域の状況

東側の一部に 0.5m未満の浸水、西側の一部に 0.5m以上 1.0m未満の浸水が想定されます。( の箇所)

### ② 浸水想定区域と避難施設の分布状況

避難施設から 500m圏内に浸水想定区域があり、特に、居住促進区域の西側に広がっており、迅速な避難が必要です。( の箇所)



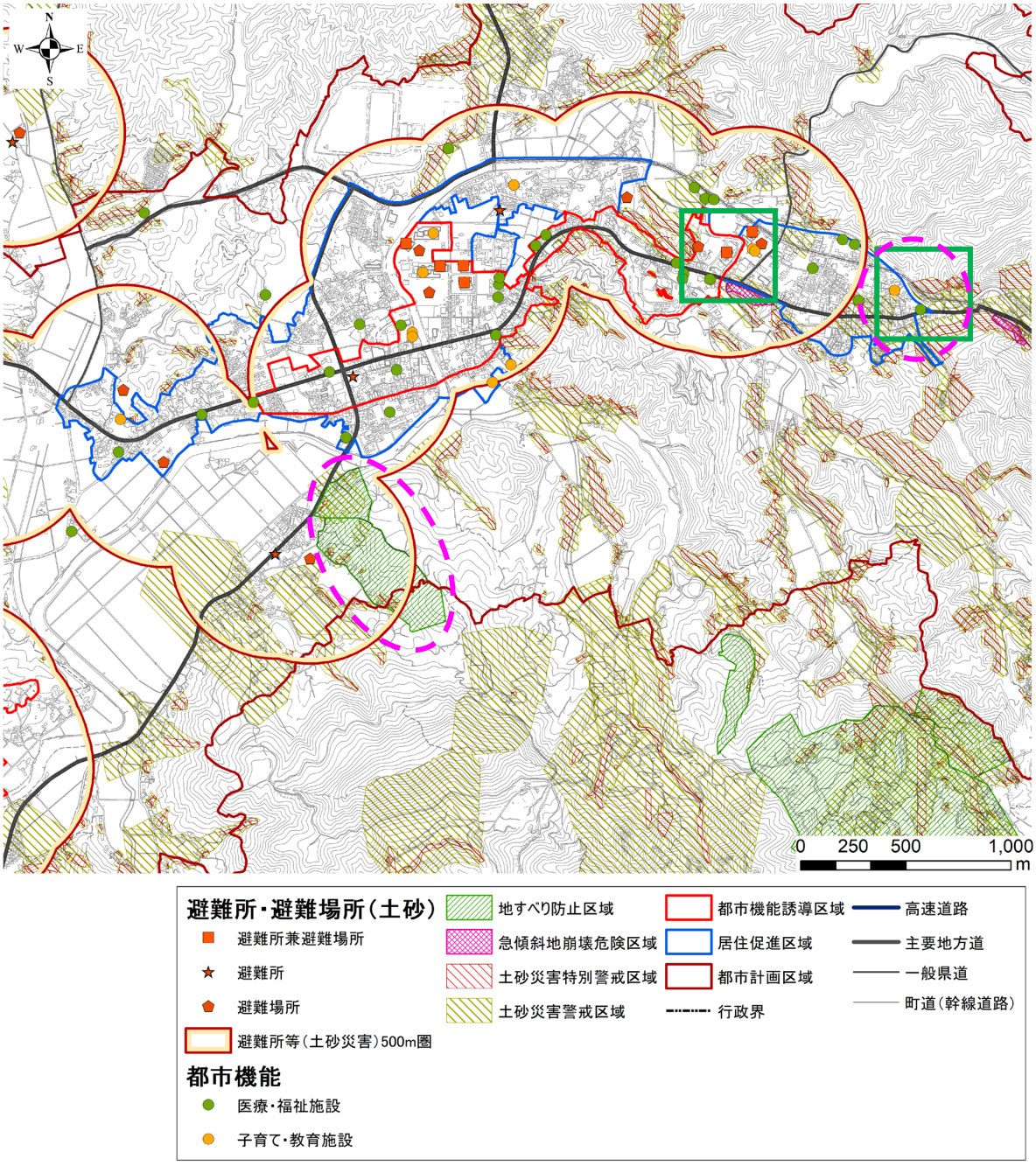

■中心地区の課題(洪水)

### ③ 土砂災害リスクの状況

東側に土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域が広がっており、南側には、地すべり防止区域が比較的近い箇所に広がっています。（◌ の箇所）

### ④ 土砂災害リスクと避難施設の分布状況

避難施設から 500m圏内に土砂災害リスクがあり、東側の一部は、土砂災害リスクと避難施設が隣接しています。そのため、状況に合わせた適切な避難が必要となります。（□ の箇所）




■中心地区の課題（土砂災害）

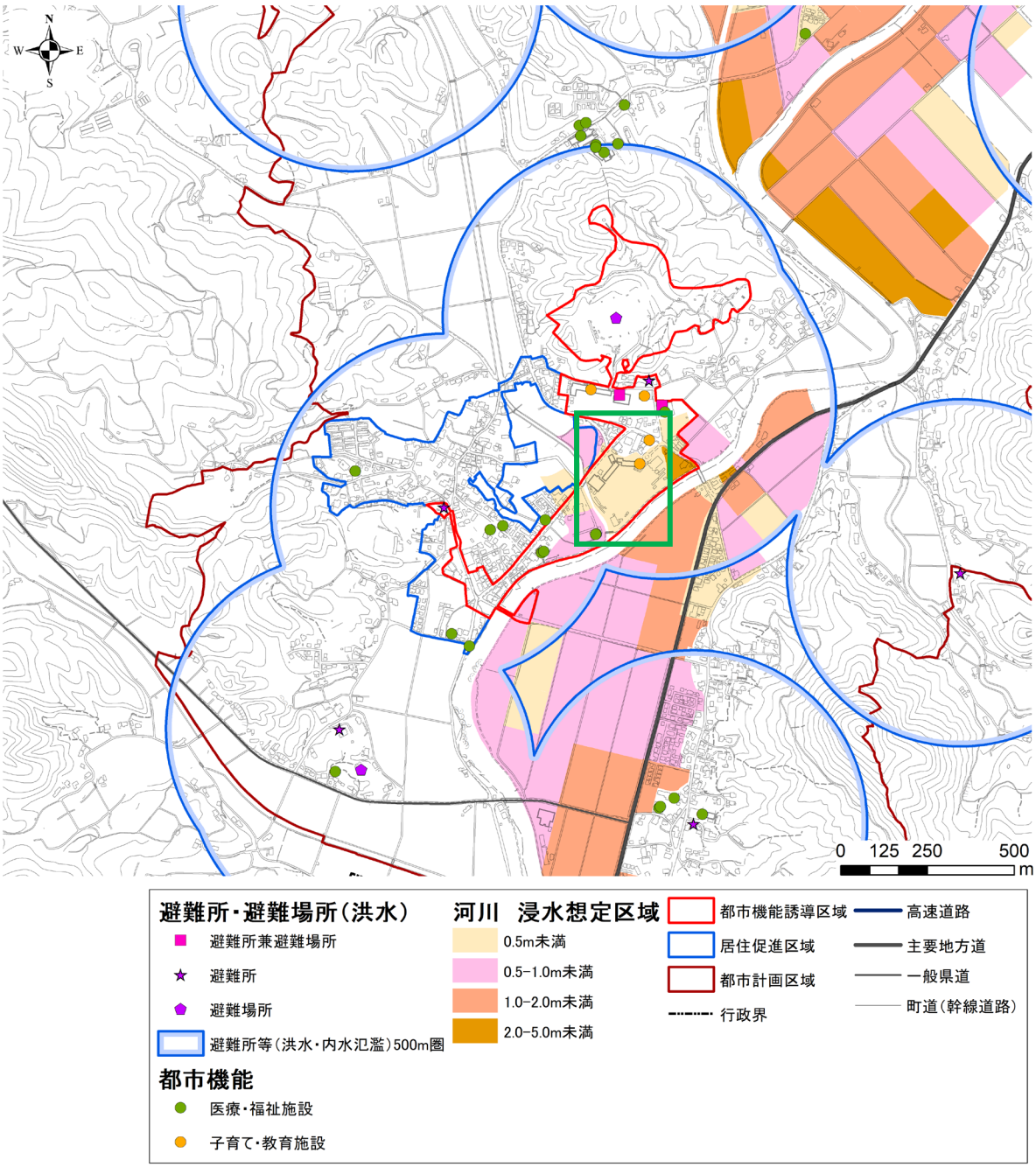
## （２）南地区

### ① 浸水想定区域の状況

南側に 0.5m以上 1.0m未満の浸水、一部は 2.0m以上 5.0m未満の浸水が想定されます。

### ② 浸水想定区域と避難施設の分布状況

避難施設から 500m圏内に浸水想定区域があり、一部子育て・教育施設と医療・福祉施設が浸水想定区域と重なっているため、迅速な避難が必要です。（ の箇所）



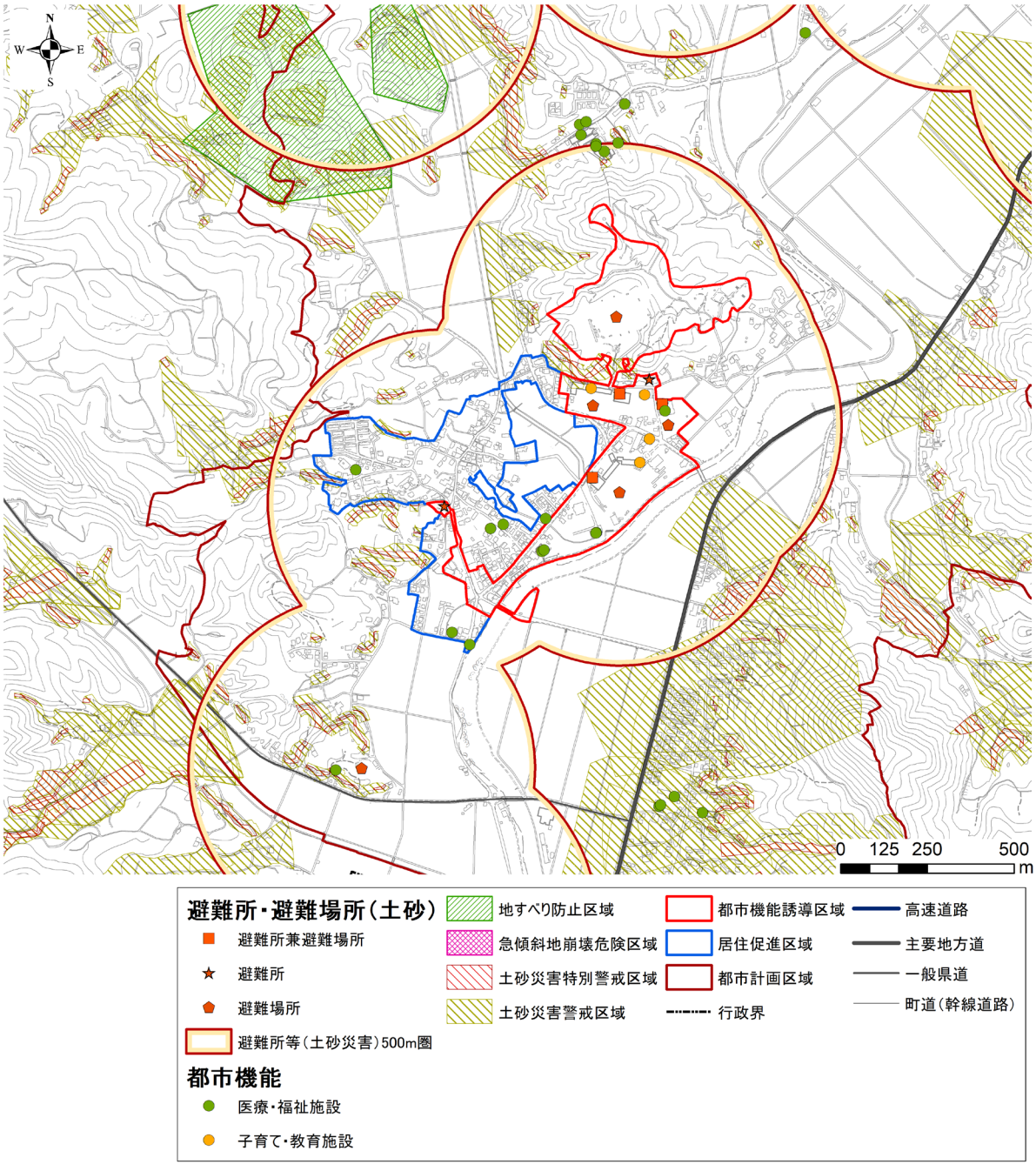

■南地区の課題（洪水）

### ③ 土砂災害リスクの状況

一部に土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域が広がり、居住促進区域と隣接しています。

### ④ 土砂災害リスクと避難施設の分布状況

避難場所となっている鴻ノ巣グラウンドまでの道路の一部に、土砂災害リスクが重なるエリアがあり、安全に避難ができるよう、新規の道路整備や、災害の状況に合わせた避難の対応ができるよう、高齢者等を含めた地区住民の避難訓練が求められます。




■南地区の課題（土砂災害）